

名張市教育委員会事務の点検・評価報告書

平成28年 3月

名張市教育委員会

事務の点検・評価

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、「名張市教育委員会事務の点検・評価報告書」を作成しています。

また、市も毎年行政評価を実施しておりますことから、その行政評価の施策評価管理シートを活用し、教育委員会で担当する施策を再度点検し、公表することといたしております。

教育委員会は、「市総合計画理想郷プラン」に定める50の施策の内、①学校教育、②青少年健全育成、③生涯学習、④生涯スポーツ、⑤市民文化、⑥文化資源、⑦文化交流の7つの施策を担当しております。

本報告書は、平成27年7月（平成26年度実績）に作成しました施策評価管理シートの「今後の施策の方向性、改善方法」に基づく施策の見直しを行うとともに、平成28年度の事業実施を見据え、施策指標（目標）の進捗率を踏まえた再点検を行い、作成しました。

注) 進捗率は、施策指標（目標値）に対し、当該年度（実績値）が市総合計画の基本計画策定時（現状値）からどれだけ伸びているか（減っているか）指標の進み具合を下記計算式により数値化したものです。

$$\text{(計算式)} \quad \frac{\text{実績値 (2014 (平成26) 年度)} - \text{現状値 (2008 (平成20) 年度)}}{\text{目標値 (2015 (平成27) 年度)} - \text{現状値 (2008 (平成20) 年度)}} \times 100$$

平成27年度 教育委員会事務の点検項目

	ページ
<施策1> 学校教育	1
<施策2> 青少年健全育成	7
<施策3> 生涯学習	9
<施策4> 生涯スポーツ	12
<施策5> 市民文化	14
<施策6> 文化資源	16
<施策7> 文化交流	18

< 施策1 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 生きる力をはぐくむ教育の充実
 施 策 学校教育

【基本方針】

- ・教育内容の充実を図るとともに、安全で快適な教育環境を整備します。
- ・時代の変化に対応して国際理解教育、情報教育等の充実と、特色ある教育活動や学校運営を進め、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- ・家庭、地域、学校が連携して、地域ぐるみで子どもの可能性を伸ばし豊かな人間性を育む教育など、地域に開かれた学校づくりを進めます。
- ・学校の校区編制、規模の適正化や適正配置を推進します。
- ・障害のある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばす教育を推進します。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2011	2012	2013	2014	2015	進捗率
		(H20)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	
小・中学校の教育環境に満足している市民の割合（％）	目標	—	—	62.0	—	—	65.0	2%
	成果	59.2	60.2	59.4	60.8	59.3		
学校に満足している児童生徒の割合（％）	目標	—	—	90.0	—	—	92.0	74%
	成果	88.1	89.6	89.5	89.5	91.0		
不登校児童生徒の割合（％）	目標	—	—	1.4	—	—	1.1	50%
	成果	1.5	0.9	1.0	1.1	1.3		
支援の結果、登校できるようになった児童、生徒の割合（％）	目標	—	—	23.0	—	—	26.0	100%
	成果	15.0	33.3	10.4	35.7	39.2		
特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の割合（％）	目標	—	—	30.0	—	—	50.0	100%
	成果	27.0	99.4	100.0	99.0	100.0		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	「総合的な学習」推進事業	学校教育室	地域の特色を生かし聞取り学習、体験学習等を行う。	継続 (現行)
2	ふるさと学習充実事業	学校教育室	社会科副読本「わたしたちの名張市」を活用し、郷土の自然や文化、歴史に親しみ、郷土を愛する子どもを育む。	継続 (現行)
3	外国語活動実践研究事業	学校教育室	教材の配付、授業実践研究等により、小学校外国語活動の充実を図る。	継続 (現行)
4	学校支援ボランティア推進事業	教育センター	学校生活支援ボランティアの知識、経験や技能を生かし、学校教育の充実を図る。	継続 (拡大)
5	学校図書館教育充実事業	教育センター	モデル校を指定し、児童生徒への読み聞かせや学校図書館の整備、学校図書館の環境整備等の活動を行う。	継続 (拡大)
6	学校保健事業	学務管理室	学校における児童生徒の健康の保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施を図る。	継続 (現行)
7	基礎学力向上支援事業	学校教育室	標準学力調査を実施し、学力保障を図るとともに、新体力テストを実施し、体力向上の取組を進める。	継続 (現行)
8	生徒指導充実推進事業	学校教育室	市内全児童生徒にQ-U調査を実施し、居心地のよい学級集団づくりを進める。	継続 (現行)
9	特別支援教育体制整備事業	学校教育室	特別な支援が必要な児童生徒への有効な支援を充実させ、保育所・幼稚園から高校まで途切れない支援を行う。	継続 (現行)
10	小学校教育振興費 (学務管理室)	学務管理室	理科、算数に関する教育設備の整備等により、良好な教育環境を整備する。	継続 (拡大)
11	小学校教育振興費 (学校教育室)	学校教育室	市指定教育研究推進事業の実施や文化的な教育活動の支援等により、市内小学校の教育の振興を図る。	継続 (拡大)
12	中学校教育振興費 (学務管理室)	学務管理室	設備備品、通学手段等の教育環境を整備し、円滑な学校教育の実施を図る。	継続 (拡大)
13	中学校教育振興費 (学校教育室)	学校教育室	クラブ活動や進路指導の充実、研究指定等の実施により、教育の質の向上を図る。	継続 (現行)
14	中学生地域ふれあい事業	学校教育室	職場体験活動を実施し、生徒の望ましい職業観、生徒の個性の伸長を図る。	継続 (現行)
15	教育フォーラム事業	教育総務室	教育関係者、保護者、地域住民が一堂に会し、市民みんなで子どもを育てるしくみの構築を図る。	継続 (現行)
16	校区再編推進事業	教育総務室	学校の規模・配置の適正化により、集団活動の中での学びを促し、健康な心と体を育てる学習環境を整える。	継続 (現行)
17	パーソナルカルテ推進事業	学校教育室	保護者が、学校と連携しながら、子どものデータを構築することにより、途切れのない支援を進める。	継続 (現行)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
18	教育研究事業	教育センター	教育課題に迅速かつ適切に対応していくため、教育力の向上を目指す。	継続 (拡大)
19	道徳教育総合支援事業	学校教育室	道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心の育成を図る。	H27 完了予定
20	いじめ防止対策事業	学校教育室	いじめのない学校づくりを進めるために関係機関等が連携し、組織的に実態把握といじめ防止等に取り組む。	継続 (改善)
21	魅力ある学校づくり調査研究事業	学校教育室	一人ひとりの子どもが大切にされ、いじめのない学校づくりの取組の成果を発信する。	H27 完了予定
22	確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業	学校教育室	学力向上の支援を充実し、児童生徒の学力向上を図る。	H27 完了予定
23	発達障害早期支援研究事業	学校教育室	発達障害の可能性のある児童を早期発見し、有効な支援の手だてを引き継ぐ等、特別支援教育に係る支援力の向上を図る。	継続 (現行)
24	小学校教育振興費(扶助費分)	学務管理室	義務教育の円滑な運営のために、保護者の負担を軽減する。	継続 (現行)
25	中学校教育振興費(扶助費分)	学務管理室	義務教育の円滑な運営のために、保護者の負担を軽減する。	継続 (現行)
26	奨学金支給事業(補助金含む)	学務管理室	奨学金の支給又は貸付を行い、地域及び社会に役立つ人材を育成する。	継続 (改善)
27	遠距離通学費補助金(小学校)	学務管理室	遠距離通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象児童の通学の安全を図る。	継続 (現行)
28	遠距離通学費補助金(中学校)	学務管理室	遠距離通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象生徒の通学の安全を図る。	継続 (現行)
29	私立幼稚園子育て支援補助金	保育幼稚園室	子育て支援の強化を図る。	継続 (現行)
30	私立幼稚園就園奨励補助金(補助分)	保育幼稚園室	幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の普及を図る。	継続 (改善)
31	私立幼稚園就園奨励補助金(単独分)	保育幼稚園室	幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の普及を図る。	H26 完了
32	小学校耐震改修事業	学務管理室	計画的に耐震補強工事を実施し、避難所としての機能確保、地震発生時の児童の安全を守る。	H27 完了予定
33	中学校耐震改修事業	学務管理室	計画的に耐震補強工事を実施し、避難所としての機能確保、地震発生時の児童の安全を守る。	H27 完了予定
34	吊天井等落下防止対策事業	学務管理室	地震発生時の生徒の安全の保持及び地域住民を含めた避難所機能を確保する。	継続 (現行)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
35	小学校管理費 (学務管理室)	学務管理室	学校施設の適切な維持管理を実施し、円滑な学校運営を図る。	継続 (現行)
36	中学校管理費 (学務管理室)	学務管理室	学校施設の適切な維持管理を実施し、円滑な学校運営を図る。	継続 (現行)
37	幼稚園管理費	保育幼稚園室	公立幼稚園の円滑な運営を図る。	継続 (現行)
38	教職員住宅管理費	学務管理室	遠隔地から赴任してきた教職員に住居を提供し、円滑な学校運営を図る。	H26 完了
39	教育センター管理費	教育センター	本市教育の中核施設として、子どもたちの豊かな学びの保障、様々な教育課題の解決を図る。	継続 (現行)
40	教育委員会一般経費	教育総務室	教育委員会の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (改善)
41	事務局一般経費 (教育総務室)	教育総務室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
42	事務局一般経費 (学務管理室)	学務管理室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
43	事務局一般経費 (学校教育室)	学校教育室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
44	教育振興一般経費 (学校教育室)	学校教育室	各学校の円滑な運営と児童生徒活動の推進により、教育水準の維持・向上を図る。	継続 (現行)
45	小学校運営費	学務管理室	小学校の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
46	小学校管理費 (学校教育室)	学校教育室	夏季休業中のプール監視補助員の配置等により、子どもの安全な学校生活を保障し、学校運営を円滑に行う。	継続 (現行)
47	小学校給食費	学務管理室	給食施設・設備の適切な管理運営を行い、安全安心な学校給食を提供する。	継続 (現行)
48	中学校運営費	学務管理室	中学校の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
49	中学校管理費 (学校教育室)	学校教育室	自立支援員の研修支援等により、学校の運営管理を円滑に行う。	継続 (現行)
50	幼稚園運営費	保育幼稚園室	公立幼稚園の円滑な運営を図る。	継続 (現行)
51	幼稚園運営費	学校教育室	指定研究により小幼保の連携を含めた幼児教育の研究を実施し、就学前教育の資質向上に寄与する。	継続 (現行)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
52	小中学校コンピュータ管理費	学校教育室	パソコン教育の環境を整備し、情報教育リテラシーの向上を図る。	継続 (拡大)
53	教育振興一般経費（賃金以外）	教育総務室	臨時職員が業務を遂行するうえで必要な経費	継続 (現行)
54	教科用図書採択業務	学校教育室	教科用図書の採択に係る必要経費	H27 完了予定
55	看護専門学校 (病院事業会計)	看護専門学校 (教務庶務室)	地域社会に貢献できる看護師を育成する。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・子ども教育ビジョンに掲げた基本的な考え方（0歳から18歳までの育ちの連続性と、教育に関係する社会全体の連携の強化、必要とされる教育水準を保障する仕組みづくり）に沿って、概ね順調に取り組んでいます。
- ・小・中学校の教育環境に満足している市民の割合はわずかに低下したものの、学校に満足している児童生徒の割合はやや上昇しており、教育環境を整備する予算措置が厳しい中でも、一定の目標を達成できたと考えられます。不登校への対応については、小学校で微増し、中学校では減少傾向ではあるものの、小学校から中学校への移行期に増加する傾向があり、引き続き途切れのない支援が必要です。
- ・特別支援教育にかかる取組については、コーディネーターの配置や児童生徒の個別の指導計画の作成等により、学校全体の特別支援教育の質の向上を図り、支援を必要とする子どもの育ちに合った系統的な支援を行いました。また、教育センターを拠点に、子ども発達支援センターや関係機関との連携を円滑に行い、特別な支援を必要とする子どもの育ちと学びをより総合的・継続的に支援する仕組みを構築しました。
- ・教育センターにおいて、開設から3年間で、研修講座の充実による教職員への支援がより進むとともに、週末支援事業、出前授業が定着し、発達支援教室を新設するなど、拡充を図ることができました。ボランティア室開設による地域と学校をつなぐ仕組みづくりを進め、子育て支援のための講座も充実を図ることができました。
- ・小中学校の校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を計画的に実施し、災害に強い学校施設づくりを進めています。なお、小中学校施設の耐震化率は、平成27年3月末現在で、90.91%になります。

【施策の点検】

- ・子ども教育ビジョンに掲げる基本的な考え方に沿って、一人ひとりの子どもに教職員が向き合うための環境整備、子どもの育ちや学びに合った連続性・系統性のある教育の推進や、学校が地域コミュニティの核となって、多様な人々との協働を図り、様々な知恵・資源を学校に取り入れることができる仕組みの構築に向け、取組を進めていきます。今後は、小中一貫教育を推進し、義務教育9年間を見据えた連続性のある一貫した指導を行い、小中学校間の段差を緩やかにし、子どもの心理的・身体的な発達段階に応じたきめ細やかな指導・支援の体制の構築と、地域とともにある学校づくりの仕組みづくりに向けての取組を進めていきます。
- ・教育センターの5つの機能（子どもの育ち・学びへの支援、教育に関する調査・研究、教職員への支援、学校と地域の連携への支援、教育情報・資料の収集・提供）を充実させるとともに、小中一貫教育を始め子ども教育ビジョンの実現に向けて、研修講座の体系化と研修内容のさらなる質の向上、関係部局との連携を密にした研修講座の実施に努めます。また、家庭の教育力、地域の教育力向上のための多様なニーズに対応した研修のさらなる充実や、より多くの保護者支援の仕組みづくりを進めます。
- ・小中学校の校舎及び屋内運動場の耐震化補強工事は予定通り平成27年度で完了し、児童生徒の安全の確保を図ることができました。完了後は、老朽施設設備の抜本的な整備が急務であることから、「長寿命化に向けた新たな計画」を策定するなどにより、緊急性・必要性の高いものから順に計画的に整備を進めます。

< 施策 2 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 生きる力をはぐくむ教育の充実
 施 策 青少年健全育成

【基本方針】

- ・家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成に取り組むことのできる環境づくりに努めます。
- ・青少年の自主的な活動や交流を支援するとともに、非行防止活動や相談体制を充実するなど、健全育成の環境づくりに取り組みます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2011	2012	2013	2014	2015	進捗率
		(H20)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	
初発型非行数（件）	目標	—	—	70	—	—	60	100%
	成果	77	20	22	28	16		
青少年ボランティア数（人）	目標	—	—	50	—	—	56	100%
	成果	47	57	60	61	56		
放課後子ども教室実施回数【延べ値】（回）	目標	—	—	488	—	—	1,100	41%
	成果	22	201	280	354	463		
青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合（%）	目標	—	—	—	—	—	45.0	61%
	成果	—	39.1	42.6	46.8	42.7		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	放課後子ども支援事業	文化生涯学習室	放課後子ども教室を開催し、子どもの居場所づくりと健全育成を図る。	継続 (拡大)
2	成人式行事経費	文化生涯学習室	式典開催により、新成人に大人としての自覚を促し、責任ある行動、社会参画の意識の醸成を図る。	継続 (現行)
3	青少年健全育成事業	文化生涯学習室	非行防止、環境浄化活動により安心安全な環境づくりに取り組み、青少年の健全育成を図る。	継続 (現行)
4	青少年健全育成事業補助金	文化生涯学習室	青少年育成市民会議の活動を支援し、青少年健全育成活動の推進を図る。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・青少年健全育成事業は、青少年育成市民会議の活動が年々充実しており、今後も関係団体・関係機関との連携を維持しながら、事業を継続していきます。
- ・地域ぐるみで子どもを守る取組として、「子どもを守る家」や、名張市青少年育成市民会議、青少年育成推進員が中心となって活動している「名張少年サポートふれあい隊」のパトロール等、青少年補導センターと連携して、非行や犯罪から子どもを守る体制が整ってきています。
- ・放課後子ども教室については、平成26年度から新たに桔梗が丘の3小学校区と錦生地区で開設され、6教室8小学校区で実施されています。

【施策の点検】

- ・事業推進にあたっては、学校、家庭や地域づくり組織、関係団体との連携を十分に行い、質を重視した取組内容を検討し、協働して取組を進めます。
- ・青少年補導センターにおいては、引き続き校外生活指導連絡協議会を組織し、情報の収集・集約を行うとともに、相談機関打ち合わせ会や、要保護児童対策及びDV対策地域協議会等、関係機関との連携を密にし、青少年の状況把握と、青少年に対する補導・指導を行います。
- ・放課後子ども教室は、子どもたちが体験学習を通じて、仲間や地域の人達とのつながりを感じることのできる事業であり、地域との連携を図りながら、より多くの小学校区で実施されるよう、今後も普及啓発に努めます。
- ・平成27年度のジュニアリーダー養成講座終了後、ジュニアリーダーの登録者が増加する等、近年、中学生、高校生や大学生のボランティアに対する関心が高まってきており、今後も引き続き、養成講座等を開催し、ボランティアに関する基礎知識の習得と活動の機会を提供します。

< 施策3 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
 施 策 生涯学習

【基本方針】

- ・生涯学習のまちづくりを進めます。
- ・積極的な情報提供を行うとともに、多様化するニーズに対応して快適に学び続けることのできる学習機会や環境の充実に取り組みます。
- ・生涯学習を通して身につけた知識や情報、経験を地域や社会で生かすことができるよう、学校、ボランティア組織や福祉施設等との連携を強化します。
- ・高等教育機関との連携を強化し、施策や地域課題についての共同研究を通して地域との交流連携を促進します。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2011	2012	2013	2014	2015	進捗率
		(H20)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合（％）	目標	—	—	46.0	—	—	49.0	33%
	成果	42.3	41.0	41.7	42.8	44.5		
公民館のサービスに満足している利用者の割合（％）	目標	—	—	72.0	—	—	77.0	100%
	成果	66.9	86.5	88.6	94.8	95.7		
市民1人あたりの年間公民館利用回数（回）	目標	—	—	3.6	—	—	3.8	57%
	成果	3.1	3.4	3.4	3.4	3.5		
市民1人あたりの年間図書貸出冊数（冊）	目標	—	—	6.4	—	—	6.8	86%
	成果	6.1	7.1	6.9	6.6	6.7		
年度内に図書の貸出を利用した市民の割合（％）	目標	—	—	16.5	—	—	17.0	0%
	成果	15.6	15.7	15.3	14.8	14.5		
公民館における家庭教育講座の講座数 【延べ値】（講座）	目標	—	—	56	—	—	96	76%
	成果	10	43	68	68	75		
高等教育機関と共同実施した事業数 【延べ値】（件）	目標	—	—	6	—	—	15	73%
	成果	0	3	6	8	11		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	学校支援地域本部事業	文化生涯学習室	事業の実施により、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進し、学校を支援するしくみの構築を図る。	継続 (拡大)
2	生涯学習推進事業	文化生涯学習室	人材の育成や家庭教育等、重要課題の学習機会を提供し、公民館活動や地域組織活動の充実を図る。	継続 (現行)
3	なばり本の帯コンクール事業	図書館	本の帯作りを通して、小中学生の読書活動の推進を図る。	継続 (現行)
4	図書館運営費	図書館	資料（書籍）を収集・整理し、市民の利用に供し、市民の学習機会保障と文化の発展を図る。	継続 (拡大)
5	公民館耐震改修事業	地域経営室	避難所として、生涯学習施設として、安心して利用いただける施設整備。	H26 完了
6	公民館改修事業	地域経営室	地域住民のニーズにあったサービスを提供するため、資質の向上や公民館事業の充実を図る	H26 完了
7	公民館増築事業	文化生涯学習室	施設の増築及びユニバーサルデザインで住民の利便性も向上し、公民館活動の推進を図る。	H26 完了
8	市民センター増改築事業	文化生涯学習室	施設整備を実施することにより、公民館活動及び地域づくり活動の推進を図る。	H27 完了予定
9	公民館管理費	文化生涯学習室 地域経営室	地域住民のニーズに応じた生涯学習の展開を図る。	継続 (現行)
10	図書館管理費	図書館	施設及び設備を適切に維持管理し、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)
11	社会教育総務一般経費	文化生涯学習室	社会教育委員の審議機能を強化し、公民館並びに社会教育団体への支援を行うことで、生涯学習の振興を図る。	継続 (現行)
12	「おはなし会」ボランティア育成事業	図書館	おはなし会ボランティアの意欲やスキルの向上を図るとともにボランティア同士の交流を深めることによっておはなし会の充実を図る。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・学校支援地域本部事業を全小中学校で実施するとともに、学校とボランティアを結ぶチーフコーディネーターを配置するなど、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進する体制の構築を進めました。
- ・「なばりカレッジ」を皇學館大学ふるさと講座や近畿大学工業高等専門学校の市民公開講座、各地区公民館講座と共催で実施したことにより、高等教育機関との連携、公民館の活性化、市民の学習ニーズに応えられるなどの効果がありました。今後は講座修了生が、各地域で活躍できるシステムづくりを検討します。
- ・身近な情報拠点としての図書館の役割を果たすことができました。

【施策の点検】

- 学校支援地域本部については、地域コーディネーターやボランティアの育成・指導をさらに進めるなど、地域ぐるみで学校を支援し、子どもを育てる地域教育力の向上に向けた体制整備を進めます。
- 各地区公民館講座との共催方式や高等教育機関との連携を強化する等、子どもから大人まで幅広い層が生涯学習に取り組めるよう、学習機会や環境の充実に取り組みます。
- 各種講座の受講者のより自主的な活動への発展をサポートし、地域で活躍できる人材づくりを進めていきます。
- 生涯学習の成果をまちづくりやボランティア活動に生かすことができるよう、幅広い分野での社会貢献に取り組めます。
- 図書館が、市民の生涯学習活動を支援するための身近な情報拠点としての役割を果たせるよう、引き続き環境整備に努めます。また、1人でも多くの市民に図書館を利用してもらえるよう、カウンター業務等を委託している民間事業者と協働しながら、図書館サービスの更なる向上を図ります。
- 平成27年度に策定した地域における生涯学習推進に関する指針（地域生涯学習推進指針）に基づき、地域の拠点施設である市民センター等において、さらなる生涯学習の推進を図ります。

< 施策 4 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
 施 策 生涯スポーツ

【基本方針】

- ・スポーツ関係団体や地域との連携を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組めます。
- ・ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備、民間施設の活用等も含めた整備計画を策定し取り組めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合 (%)	目標	—	—	40.0	—	—	43.0	77%
	成果	36.5	40.6	38.0	39.3	41.5		
スポーツリーダーバンク利用回数 【延べ値】(回)	目標	—	—	125	—	—	260	15%
	成果	15	15	39	45	51		
市民1人あたりの年間体育施設利用回数 (回)	目標	—	—	5.5	—	—	6.0	0%
	成果	5.0	5.1	4.8	4.1	4.4		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	スポーツ活動振興費	市民スポーツ室	スポーツ活動振興事業の実施により市民の体力向上、健康の保持・増進を図る。	継続 (改善)
2	スポーツ世界選手権大会市民応援事業	市民スポーツ室	ワールドカップに出場する名張市出身のサッカー選手を応援し、市民が活力・元気を共有し、スポーツに親しむ契機とする。	H26 完了
3	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業	市民スポーツ室	地域におけるスポーツ活動拠点づくり並びに地域交流の場を提供し、積極的な地域スポーツ振興を図る。	継続 (拡大)
4	武道交流館いきいき管理費	市民スポーツ室	指定管理者による管理・運営及び維持修繕の実施により、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
5	体育施設管理費	市民スポーツ室	指定管理者による管理・運営及び維持修繕の実施により、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)
6	保健体育総務一般経費	市民スポーツ室	スポーツ推進委員の活動支援及び研修会の実施等により、スポーツ活動の充実を図る。	継続 (改善)

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・近年、運動する子ども、しない子どもの二極化が顕著になっている中で、運動しない子ども等に、スポーツへの関心を高める機会を提供できました。
- ・スポーツ世界選手権大会市民応援事業により、市民のスポーツへの関心やスポーツを実践する機運の高揚に取り組みました。また、青少年に夢や希望を与える機会の創出につながりました。
- ・体育施設や学校開放の利用状況については、年間43万人の利用者(前年比7.3%の増加)があり、施設利用の向上が図れました。
- ・総合型地域スポーツクラブ創設支援指針を定め、地域におけるスポーツ活動の基盤となる2団体の認定を行いました。

【施策の点検】

- ・「いつでも・だれでも・いつまでも」を理念に、市民がスポーツ活動を通して得られる効果を日常に取り入れ、健康でいきいきとした暮らしを営めるよう、機会提供並びに環境整備を積極的に進めます。
- ・スポーツリーダーバンクについては、登録者の減少や高齢化、競技種目が限定されている等の理由から、現在、利用者のニーズに十分対応できているとは言えない状況にあります。今後、三重県や近隣市との連携を図りながら、幅広い要望に対応できる仕組みを構築していきます。
- ・活動の基盤となる各種スポーツ団体の育成、指導、強化に引き続き取り組みます。
- ・子どもをはじめ多くの市民が夢と希望を抱き、スポーツに取り組む意欲を育む契機づくりや、スポーツへの関心を高める機会の提供、競技力の向上に資するため、トップアスリートの招へいに努めます。
- ・生涯スポーツの振興普及の拠点となる「地域総合型スポーツクラブ」が、市民の身近な所で活動できるよう、各地域での創設に取り組み、継続して支援していきます。
- ・体育施設の多くが竣工後30年以上経過し老朽化が進み、また、利用者のニーズに応じた施設整備が急務となっている中、市民が安全・安心かつ快適に利用できる体育施設の整備を計画的に推進し、より多くの市民の利用に供せるよう取り組みます。
- ・平成33年第76回国民体育大会(三重とこわか国体)の開催に向けて、準備組織をはじめ、計画づくりや企画運営に対し、準備段階から市民が参画できる体制を構築します。

< 施策5 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 市民文化の創造
 施 策 市民文化

【基本方針】

- ・「名張らしさ」が息づく魅力ある市民文化を育み、心豊かな交流が広がる質の高い暮らしを創造します。
- ・「能楽のふるさとづくり」を目指し、伝統文化の伝承・発展や自主的な文化活動への積極的な支援と、人材の発掘・育成に努めます。
- ・名張の文化を積極的に発信するとともに、全国の多様な地域との豊かな文化交流に努めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2011	2012	2013	2014	2015	進捗率
		(H20)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	
1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合（％）	目標	—	—	53.0	—	—	54.0	30%
	成果	49.6	49.4	50.1	52.2	50.9		
美術展覧会出展数【延べ値】（点）	目標	—	—	1,172	—	—	1,892	72%
	成果	230	841	1,020	1,384	1,420		
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数【延べ値】（人）	目標	—	—	222,000	—	—	360,000	77%
	成果	44,288	163,144	210,349	247,228	287,792		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	ふるさと能文化振興事業	文化生涯学習室	名張能楽祭の実施や子ども狂言の会の支援を通じて、伝統文化の伝承・発展を図る。	継続 (改善)
2	青少年センター運営費	文化生涯学習室	市民の芸術文化活動を促進する。	継続 (改善)
3	青少年センター音響設備改修事業	文化生涯学習室	市民の芸術文化活動を支える拠点施設として利用できるよう、適切な改修を行う。	継続 (現行)
4	文化施設管理費	文化生涯学習室	文化施設の適切な維持管理を行い、入館者の利便向上を図る。	継続 (改善)
5	青少年センター管理費	文化生涯学習室	青少年センターの適切な維持管理と、文化芸術の鑑賞機会の提供により市民文化の向上を図る。	継続 (改善)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
6	文化振興費	文化生涯学習室	市民文化祭及び市美術展覧会を開催し、創作活動の発表及び鑑賞の機会を提供し、市民の芸術文化への関心を高める。	継続 (改善)

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・事業を推進する中で、地域や市民団体と協働して取り組んだことにより、名張の歴史・文化をより身近に、市民に感じていただくことができました。
- ・生涯学習と連動した各地域の公民館講座を結んだ「なばりカレッジ」を開設し、名張の歴史・文化の発信に努めるとともに地域の文化を担う人材育成を図りました。

【施策の点検】

- ・青少年センターは、平成28年度より指定管理者制度による管理運営を行うこととし、民間のノウハウを活用して、優れた芸術文化の鑑賞機会や市民の芸術文化活動を支える拠点施設として、さらなる市民文化の向上を図ります。また、音響設備の改修や吊天井落下防止対策等、施設の整備、充実を図ります。
- ・伝統文化の伝承と発展のため、市民がより充実した文化活動ができるよう国の補助等を活用しながら支援を行い、名張の特色ある文化を育むとともに、積極的に情報発信を行います。

<施策6>

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 市民文化の創造
 施 策 文化資源

【基本方針】

- ・文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- ・地域で育まれた文化遺産等の地域資源を保存、活用し、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組みます。
- ・文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援します。
- ・貴重な歴史、文化等を後世に継承するため名張市史の編さんを進めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
名張の歴史を知っている市民の割合（歴史テスト認知率）（%）	目標	—	—	42.0	—	—	43.0	
	成果	38.4	32.9	32.0	30.8	32.3		0%
夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】（人）	目標	—	—	3,700	—	—	6,700	
	成果	497	1,157	1,516	1,756	2,244		28%
歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合（%）	目標	—	—	72.0	—	—	73.0	
	成果	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0		0%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	市史編さん事業	総務室	市民の郷土に対する愛着を育み、新たな文化創造のまちづくりを目指す。	継続 (拡大)
2	オオサンショウウオ緊急調査事業	文化生涯学習室	指定文化財の適切な保護を実施する。	継続 (現行)
3	郷土資料館整備事業	文化生涯学習室	埋蔵文化財等の地域の資源を活用し、広く情報発信するとともに、郷土資料館を拠点に地域の活性化につなげます。	継続 (現行)
4	文化財保護費	文化生涯学習室	指定文化財の保護及び史跡の維持管理を行い、後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図る。	継続 (改善)
5	市史編さん担当施設管理費	総務室	市史編さん担当事務所が入居する施設及び付随する関連敷地に関する適正管理	継続 (改善)

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・文化財保護の大切さを啓発し、地域にある文化財の活用を図るため、名張市郷土資料館を開設しました。
- ・国の登録文化財は、市民団体と連携して、中井家住宅主屋などまちなかの初瀬街道沿いを中心として登録数を増やしています。

【施策の点検】

- ・郷土資料館は、図書室や会議室など施設の充実を図るとともに、学習会や体験教室、企画展示等の行事を開催し、文化財の保護・活用と普及啓発に取り組みます。
- ・郷土資料館を拠点として、地域づくり組織、市民団体や観光関係機関等と連携し、新たな名張の魅力づくりに取り組むとともに、名張の歴史や文化財のガイドボランティア等の人材育成と活用を図ります。
- ・収集した貴重な歴史資料の企画展示を行う等、歴史的、文化的資源の活用を図るとともに、なばり人養成塾、名張カレッジ等の歴史文化講座等への参加を通じて、より多くの市民が郷土「名張」の歴史文化についての関心を高め、理解や愛着を深められるよう、市民団体と連携、協力しながら事業展開を図ります。

< 施策 7 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 市民文化の創造
 施 策 文化交流

【基本方針】

- ・名張の文化を積極的に発信し、全国の多様な地域との豊かな文化交流を進めます。
- ・外国人旅行者や在住者が、住みやすく、活動しやすい情報提供を進め、市民公益活動団体等とのネットワークを充実します。
- ・名張固有の文化等の情報発信を通し、世界の多様な地域や人々との交流を広げるなど世界に開かれたまちづくりを進めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2011	2012	2013	2014	2015	進捗率
		(H20)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	
名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合（％）	目標	—	—	58.0	—	—	60.0	
	成果	55.5	60.5	60.7	61.3	60.1		100%
指差し会話集の数【延べ値】（件）	目標	—	—	17	—	—	20	
	成果	13	13	13	13	13		0%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	小学校ALT派遣事業	学校教育室	小学校専属外国語指導助手を派遣し、コミュニケーション能力の育成及び国際理解教育の充実を図る。	継続 (拡大)
2	中学校ALT派遣事業	学校教育室	中学校外国語指導助手を派遣及び小中連携により、聞く・話す力の育成、コミュニケーション能力の育成を図る。	継続 (現行)
3	日中スポーツ友好交流事業	市民スポーツ室	中国・蘇州市とスポーツ友好交流を通じて、国際的視野を広めさせるとともに相互理解と友好交流を深める。	継続 (現行)
4	中学生国際交流派遣事業	文化生涯学習室	交流の基本となる国際感覚や諸外国の理解を深めながら国際交流を促進する。	H26 完了

【教育委員会の評価】：計画どおり事業推進

- ・子ども伝統芸能発表会は第6回目を迎え、定着してきており「狂言」を通しての文化交流を行い、名張市の文化の情報発信ができました。

【施策の点検】

- ・地域や市民活動団体と連携してイベントを開催する等、ふるさと名張の文化を積極的に情報発信します。
- ・市民活動団体との連携強化やALT（外国語指導助手）を活用し、文化交流や国際理解教育を促進します。なお、外国人等と指さしながら会話ができるように作成した「指さし会話集」については、教育分野のみならず、福祉や観光分野等と連携して取り組む事業であることから、今後、市長部局とともに事業のあり方について検討します。